

2020.8.10  
No.66

# 聖化

Japan Holiness Association

[発行] 日本聖化協力会

## 逆境の日には……

日本聖化協力会 会長 竿代照夫



「順境の日には喜び、逆境の日には反省せよ（文語訳Ⅱ「考えよ」）。これもあれも神のなさること。」（伝道者の書七・14）

新型コロナウイルス感染症収束の兆しも見えないこの年、各地から聖化大会中止、あるいは、行う場合でもオンラインへの切り替えなどの知らせが届いています。春の日本聖化協会の全国評議員会や秋の役員会も、メールで連絡を取り合うのがやっとです。JHAは本来、聖化の恵みを求めて「共に集まる」ことを生命としていますから「集まれない」と「今年には正に「逆境」の日々です。

み言葉は「逆境の日には反省せよ（あるいは、考えよ）」と勧めています。逆境の今こそ、できることを前向きに考える時です。

今できることの一つは、聖化の良書の学びです。ステイホームで外出できない分、買っ溜めた聖化の良書をじっくり読み返しましょう。あるいは、新たに買い求めて読みましょう。私自身、一度読んだ本をもう一度読むことよって、新しい発見があり、新しい恵みを味わっています。JHA発行の書籍を読むことよって、この時でなければ得られない深い恵みを味わうことができるはずですよ。

もう一つは、互いのための祈りです。顔を合わせる機会の少なくなった教会員同士のために日々祈りましょう。他の諸教会のために情報を集めながら、真剣に祈り合います。

う。私たちの群では、「祈りのネットワーク」という群の全教会と各部門の祈りの課題一覧表があり、日毎に他の教会のために祈る助けとなつていきます。更に、自分の地域の聖化交友会、そして、他地域の聖化交友会のために、ホームページなどのデータを入手して祈りましょう。

ある方が「祈りこそは究極のテレワークだ」と言いました。「祈りよって、外に出なくても相手のために何かしてあげる。私たちがささげる祈りというのは誰かに向けてささげられた愛ですから、その愛を神様がしっかりと受け止めて、神様の愛と一つになった私たちの愛がこの世界を包んでゆく。そして、どんどん世界を変えてゆく」と語りました。「正しい人の祈りは、働くとき大きな力がある」（ヤコブ四・16）のです。

祈りの表れとしても一つ一つのわざは、電話、メール、手紙などを通しての励ましと情報交換です。このような形の通信は、対面的な交わりで勝るものではありませんが、その欠けを十分に補いうるものと思います。

やがてコロナ禍が過ぎ去り、心置きなく共に集うことが許される「順境の日」が戻りましたら、「逆境の日」を乗り越えさせていだいた感謝をもって、共に大いに喜び合います。その日が一刻も早く訪れることを祈ります。

▼厳しい暑さとコロナウイルス感染の挟み撃ちにあつたような夏になってしまいました。「教会に出来ないでください。」そんな言葉を教会員に伝えることになるとは考えてもいませんでした。礼拝のたびに空いた席を眺め、来ていない人のことを思い、心を痛めて祈ったこともはるか昔のような気がします。いまはガランとした礼拝堂でビデオカメラに向かって説教するが当たり前になってしまいました。慣れとは恐ろしいものです。コロナ後、気持ちを元に戻せるだろうか、伝道の意欲をまたかき立てられるのだろうか、気がかりなことばかりが頭をよぎります。

▼こんな時、参考になる聖書の出来事はどこだろうか、あれこれと考えてページを繰ります。すべてを失ったヨブ？ アッシリア軍に包囲されたヒゼキヤ王？ 獄中のパウロ？ 気持ちはにはバビロン捕囚かなと思います。捕囚にあつた理由はともかく、祖国から遠く引き離され、彼らは自分自身に目を向け、イザヤ書四〇章以降で神さまに問うています。私たちは見捨てられたのか？ 神さまは私たちを救おうとはなさらないのか？ 神さまは猛然と反論されます。「永遠の真実の愛をもって、あなたをあわれむ。」「見よ、わたしは手のひらにあなたを刻んだ。」

▼さて、JHA出版委員会の会計が尽きてしまい、『聖化誌』の発行が難しくなりました。再開までしばらくの間、PDFでの配信でカバーしたいと思えます。今回はA4で2ページにしました。恐れ入りますが、それぞれ教会で裏表印刷していただき、皆さまに配布をお願いいたします。（矢木良雄）



## JHAの交わりに育てられて

日本聖化協力会 事務局長 古波津 美嗣こはつ みつぐ

長い間、事務局長として奉仕された小林佳先生は体調を崩され、職を辞されました。後任として古波津美嗣先生が担うべく、たまたまこのことになりました。就任のご挨拶と共に、自己紹介・お証しを書いていただきました。

主の御名を賛美します。

この春から事務局で奉仕をさせていたたくこととなりました。チャーチ・オブ・ゴッド川崎南部キリスト教会牧師 古波津美嗣です。

聖化の道を求める、日本聖化協力会事務局で奉仕できることを心から感謝しています。

私自身はクリスチャンホームで生まれ育ったのですが、大学の時に一人暮らしを始めたことで、「籠かご」が外れ、自分を見失い、信仰から離れてしまいました。

しかし、憐れみ深い主は私を見捨てず、また、両親、家族の祈り、その当時お世話になっていたインマヌエル広島教会の田中礼子先生の導きによって立ち返ることができました。

そして、広島から両親の牧会していた川崎教会に帰り、さらに聖化大会に初めて（その時、どういう折かわかりませんが11月に行われたようでした）参加いたしました。

淀橋教会で開催された聖会でした。恵みの座でピアノの裏に連れ込まれて、祈り担当の先生は、将来まさか牧会をとも

にし、お仕えることになるとはつゆにも思わなかった橋本幸夫先生でした。先生にお導きをいただき、祈っていただきました。

そのように、折に触れて私の信仰を育んだ大会の数々を思い出します。

時にサーチライトのように私の心奥深くを照らし、私の人生の道をやさしく指示すメッセージを聞くことができました。ある時は私を厳しく叱責するメッセージであったこともあります。

関東聖化交友会では、青年委員会のメンバーとして加わり、いくつかの集会を担当することもできました。多くの方々と共にし、その中でたくさんの方々の祝福をいただいたことは、これもまた主の恵みであったと感謝しております。

そのような者ですが、どのような奉仕ができるかわかりませんが、皆様とともに祝福された集会を運営できるように努力してまいりますので、皆様もぜひ、お祈りをもってお支えいただければと願っています。

今年にはコロナウイルス感染拡大のためオンラインでの聖会が主となります。それぞれの聖会が祝福されたものとなりますようにお祈りさせていただきます。

ぜひ、この聖化交友会が祝福されるようにお祈りと、またご参加をお待ちしております。主にあります。

### 事務局担当のご挨拶と自己紹介

#### 図らずも導かれた働き場で

事務局担当 河野美紀

日本聖化協力会の事務局で、事務の実務を担当して下さる河野美紀先生です。  
事務局長の古波津美嗣先生と共に「ご奉仕くださいます。よろしくお願ひいたします。」

「あなたがたは、わたしにとって聖でなければならぬ。主であるわたしが聖だからである。」（レビ記二〇・26）

4月より古波津美嗣先生のもとで事務を担当することになりました河野美紀と申します。イムマヌエル聖宣神学院を卒業後、母教会である久我山宣教会で副牧師を務めていました。今年3月に退職をし、ちょうどそのころ事務局のお話をいただいで、お受けいたしました。何もわからずに着任しましたが、渡辺章先生には会計業務のご指導を、委員や多くの先生方からも祈りとお助けをいただきましたながら勤務しております。

冒頭の聖句は始業前のデイポジションで開かれたものです。この命令の土台、根柢は神さまご自身の「聖」であることを教えられました。神の前にも人の前にも（使徒の働き二四・16）「わたしにとって聖」なる者をつくり変え続けていただくたいと願っています。

召された者でありながら現在は一般企業でパートの仕事をしています。足りないことも多々ありますが、お祈りに寛えていただけましたら幸いです。

### 2020年に開催される各地の聖化大会

大会名	日程	講師
北海道聖化大会	中止	
宮城聖化大会	9/21	山崎忍師
山形聖化大会	9/22	田中敬康師（午後に聖会I、IIを開催。ライブ配信を実施） （明年へ延期）
栃木聖化大会	中止	
関東聖化大会	10/20	工藤弘雄師（サテライト会場、YouTubeでライブ配信を実施）
東海聖化大会	10/18	畑野順一師
ジョン・ウェスレーに学ぶ会	10/23	瀬戸偉作師、岩上祝仁師、長谷川和雄師、田辺寿雄師
岡山聖化大会	10/18	平良友紀師
四国聖化大会	中止	
九州聖化大会	9/13	塩屋優子師、多良木和夫師



\*このような時期ですので、日程や開催方法の変更などが予想されます。詳細は各地域の交友会にお尋ねください。